

れるようになりました。

人々の生活が変わっていくとともに、考え方もしだいに変わって、いろいろな意見が語られるようになりました。

古い日本がよかったといつて、ヨーロッパのものをいやがる人、日本も、ヨーロッパの国と同じようにならなければいけないという人、国民のための政治をするために、議会を開くと主張する人など、さまざまな考えが発表されるようになってきました。

これからの青年を育てようという考えをもっていた嘉納治五郎かのうじごろうは、

「新しい時代を生きるためには、ヨーロッパの進んだ文化も必要だ。でも、日本人はヨーロッパ人ではない。日本人の心を忘れてはならない。ヨーロッパのよいところをとり入れながら、すぐれた日本人の、強い心とからだをつくらねばならない。」